



大府市 桃山公園の春

就任のご挨拶

特定医療法人共和会
理事長 西岡 和郎

このたび、共和会理事長を拝命いたしました西岡和郎でございます。まず、前理事長の山本直彦氏におかれましては、10年にわたり共和会の経営に多大なるご尽力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

第67期の基本方針として「発展」を掲げることいたしました。単なる現状維持ではなく、地域社会の医療・福祉ニーズに応え、より質の高いサービスを提供することで、法人としての価値を高めてまいります。

共和会は、昭和34年の設立以来、時代の変化に適応しながら発展を遂げてまいりました。その歩みを継承しつつ、今後はさらなる医療・介護サービスの拡充に向け、新たな事業にも積極的に取り組んでまいります。精神科の訪問診察を新たに開始し、在宅医療の充実を図るとともに、認知症対応型グループホームの開設や、小規模多機能型介護施設の設立を計画しております。これにより、医療・福祉の一体的な提供を実現し、地域の皆様にとってより身近で利用しやすい体制を構築してまいります。

また、共和会は平成13年に特定医療法人の認可を受け、

公益性の高い医療機関としての役割を果たしてまいりました。その一環として、大府市と連携し各種検診の受け入れを推進するとともに、昨年より医療観察法に基づく鑑定入院の受け入れを開始し、今後は外来診療にも対応してまいります。これらの取り組みを通じて精神医療の充実を図り、より多くの方に必要な医療を届けられるよう努めてまいります。

さらに、令和6年元旦に発生した能登半島地震を受け、災害時においても地域医療機関として迅速な対応ができるよう、私自身を含めた職員がDPAT（災害派遣精神医療チーム）の先遣隊として登録を完了しております。今後も災害時の医療支援体制を強化し、地域の安心・安全に貢献してまいります。

共和会は「優しい医療・楽しい職場」という理念のもと、地域に根ざした医療・介護サービスを展開し、持続可能な成長を遂げることで、より多くの皆様に貢献してまいります。これらの目標を達成するためには、関係各位のご理解とご支援が不可欠でございます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

第16回 共和会研究発表会を開催して

3月1日(土)当院多目的ホールにて第16回共和会研究発表会を開催いたしました。
今年度は、訪問看護師、作業療法士、薬剤師、看護師4名が発表し、それぞれの専門性を活かした研究や取り組みを発表しました。今年は103名の方にご来場頂き、発表毎に質問や感想が寄せられ、和やかでありながらも熱心で活発なやりとりが続きました。

今回の発表では、患者さんの生活を支える工夫や医療の質を高めるための取り組みなど、日々の業務の中から生まれた実践的なテーマが多く取り上げられました。

また、ご招待した医療施設の方々からも質問や経験を交えたお話を頂き、発表者にとっても貴重な機会となりました。

発表会後には、「明日からの業務に活かしたい」「日々の取り組みを振り返る良い機会になった」といった声が聞かれ、それぞれが新たな気付きを得る場となりました。こうした学びの積み重ねが、患者さんにとっても、働く私たちにとっても、より良い医療・看護へと繋がっていくのだと感じるひとときでした。

ご協力頂いた皆さまに感謝しながら、今回の学びをこれからの現場に活かしていきたいと思えます。



実行委員長 永田 優美子

プログラム

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 関係構築の重要性とストレングスを意識した関わり
～発達障害を持つ児童が普通学級に進学するまで～
西矢 健一郎 (看護師) |  |
| 2 | 院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルの
段階的な導入および改訂による業務効率化の検討
木谷 智恵 (薬剤師) |  |
| 3 | 便秘対策活動による参加者の意識変容
～作業療法士病棟配置制を活かした病棟内活動を実施して～
堀 朝皓 (作業療法士) |  |
| 4 | 精神科救急病棟における認知症患者を対象にした足浴の取り組み
～行動・心理症状 (BPSD) に焦点を当てて～
伊藤 慎也 (看護師) |  |
| 5 | 被害妄想が強い統合失調症患者に対して
信頼回復を得るまでのアプローチ
田中 はる香 (看護師) |  |
| 6 | 終末期にある患者への家族とともにを行う食支援
～医療療養病棟から施設退院したケースを通して～
竹内 智佳 (看護師) |  |
| 7 | 投薬エラー防止への取り組み
～配薬ロールプレイの実践～
樋 貴大 (看護師)・近藤 彩花 (看護師・発表者) |  |

共和病院では、外来～入院～退院を通して、様々な医療技術職によるサポートを行なっております。
毎号それぞれの職種を紹介しています。

薬剤課

病院薬剤師の仕事には大きく分けて薬局内業務と病棟業務があります。

薬局内業務では主に調剤、疑義照会対応、医薬品管理などを行なっています。医薬品を適切に管理し、用法・用量、薬の相互作用、検査値、副作用など様々な項目を確認した上で薬の調製・監査を行ない、患者様までお薬をお届けします。

病棟業務には薬剤管理指導業務と病棟薬剤業務があります。薬剤管理指導業務は患者様やご家族に対してお薬の説明を行なう業務で、患者様・ご家族が治療方針や服薬の意義の理解を深め、積極的に治療に参加することを目的とします。一方、病棟薬剤業務とは医師・看護師等の医療従事者の負担軽減および薬物療法の有効性・安全性の向上に役立つ業務のことで、具体的には、持参薬確認、定期薬の配薬カートセット、病棟配置薬の品質管理、

医療従事者への薬剤情報の提供などが挙げられます。

これからも毎日の業務を丁寧かつ正確に行ない、患者様に安全かつ適切な薬物治療を受けていただけるよう努めて参ります。

薬剤課責任者 蟹江 裕美子



できることもちより ワークショップ

2025年1月25日、共和病院多目的ホールにて「第4回できることもちよりワークショップ (CBID)」を開催させていただきました。

CBIDとは、暮らしの中で生きづらさを抱えている方々への支援の輪を広げていくことを目的に、参加者1人ひとりがそれぞれできる事を持ち寄り話し合う「誰1人取り残さない地域」の実現を目指す取り組みです。

共和病院では2017年に第1回を開催、2019年以降コロナ禍で中断して以来の開催でしたが、58名の地域の方に参加していただくことができ、大盛況となりました。

今回は「災害の備えが不安な高齢者」「母や兄弟の世話で悩みを抱える高校生」などの仮事例について、一般市民、隣人としてできる事から職業としてできることまで、前向

きに明るく、思いついた事をとにかく書き出し、話し合いました。休憩中にも話は尽きず、参加者同士の新たな繋がりも生まれていました。



それぞれが抱える困難はとて大きく、複雑で、解決策は簡単には見つかりません。しかし1人なら無理でも10人なら、100人なら・・・他人事と見て見ぬ振りをしない「ワンチーム」を体感できたワークショップでした。

この取り組みは、今後も地域の皆様と協力して続けていきたいと思ひます。

看護師 丹羽 俊樹

※CBID：Community Based Inclusive Development

編集後記



寒さがようやく和らぎ、暖かな日差しが感じられる季節になりました。今はまだ、桜の開花予想がニュースを賑わせていますが、今号の発刊頃にはきっと、葉桜になりかけているのでしょうか。

今号の「WA！」では、当院の実践として「研究発表会」と「できることもちよりワークショップ」について

特集し、紹介しています。地域に開かれた病院として、患者様・ご家族、さまざまな地域機関とつながりながら、私たちも学び、発展していきたいと思ひます。

広報委員会 豊田 佳子



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。

表彰おめでとうございます!

2024年度の冬季、当法人の職員が精神医療の分野で長年の功績を認められ表彰を受けました。これからも長く勤めていただき、一層の活躍を期待いたします。

当院で30年以上患者様の支援に精励尽力されたことが認められ、愛知県精神科病院協会より永年勤続表彰を受けました。(2024年12月19日) 表彰は、後日院長の西岡(現理事長兼院長)より行ないました。



中村有紀子さん
(看護師)



近藤啓史さん
(施設管理)

精神保健福祉の発展に寄与され功績が顕著な方々に、愛知県精神保健福祉協会会長より表彰授与がありました。当院からは、C-1病棟責任者の伊藤嘉依子さんが表彰を受けました。



DPAT(災害派遣精神医療チーム)

当院は、知多半島医療圏の民間病院で唯一のDPATの先遣隊登録を行なっています。2024年11月には研修に参加し、災害発生直後の現地で、DPAT先遣隊として迅速かつ的確に活動するために必要な知識や技術を学びました。災害時に円滑な連携が図れる体制作りを努めていきたいと思えます。



★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞かせください。

おもいやり共和の
キラキラチアナイト



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・脳神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

お知らせ

8月14日(木)～8月17日(日)は、
お盆につき外来診療を休診させていただきます。